

自社内カイゼンマネージャー育成実習 参加企業募集について

- 目的** 実習を通して「生産現場のカイゼン*活動の進め方」を実践的に学び、修了後、独自に自社のカイゼン計画を策定し実行できるようにします。
- 対象者** 道央圏のものづくり製造業でカイゼンに対する熱意を有する企業（食品製造業を除く）
- 実施期間** 2年間（平成29年、平成30年度）
- 公募期間** 平成29年4月17日（月）～5月12日（金）
- 予定企業数** 7社14名

**参加料
無料**

2年間の概略及びスケジュール

【1年目(平成29年度)】

参加企業の中から1社を選び、その企業は**自社の生産現場のカイゼン活動をアドバイザーの指導のもとに行います**。他の参加企業はアドバイザーから**カイゼンのネタ探しから解決手段**について学びます。

2月に、現場提供企業はカイゼン実施結果を、また各参加企業には2年目に向けカイゼン計画案を当実習で発表して頂きます。現場提供していただいた企業も、さらなるレベルアップに向けて計画を立てて頂きます。

日程	内容	参加者
5月～6月	参加企業選考：書類審査後に候補企業との社長面談	
6月下旬	参加企業7社および現場提供企業1社決定	
7月第2週	座学「カイゼン活動の進め方」 【場所】コラボほっかいどう（当財団会議室）	参加企業（全社）
7月下旬～1月	アドバイザー指導による改善活動の実践（4日～6日） 【場所】現場提供企業の製造現場	参加企業（全社） ※詳細は募集要項
2月	カイゼン実施結果や2年目のカイゼン計画の発表及びアドバイザーからの計画の講評 【場所】コラボほっかいどう（当財団会議室）	参加企業（全社）

【2年目予定(平成30年度)】

1年目で作成したカイゼン計画に沿って、各企業でカイゼン活動を実践して頂きます。アドバイザーが適宜各社の指導を行います。最後に全参加企業で対外向けにカイゼン活動成果発表会を行います。

日程	内容	参加者
4月～12月	参加企業各社で自社生産現場のカイゼン活動実施 *アドバイザーが各企業を適宜巡回指導致します(各社2～4回)	参加企業（個別）
2月	カイゼン活動成果発表会 【場所】札幌市内ホテル等	参加企業、カイゼンに興味のある企業

What is “カイゼン”？

トヨタ生産方式の主要な考え方の一つ。無駄を見つけ、なるべく費用をかけずに迅速になくす。特定の人がやるのではなく、全員参加が特色。
出典：朝日新聞掲載「キーワード」



<Before>
4人による流れ作業
200個/日生産



<After>
1人生産で100個/日
400個/日生産



カイゼン効果(例)

生産性：**倍増！**

利益：**400万円/年UP！**

自社内カイゼンマネージャー育成実習 募集要項

<事業目的>

実習を通して「生産現場のカイゼン活動の進め方」を実践的に学び、修了後、独自に自社内のカイゼン計画を策定し実行・マネジメントできる人材の育成

<対象事業者>

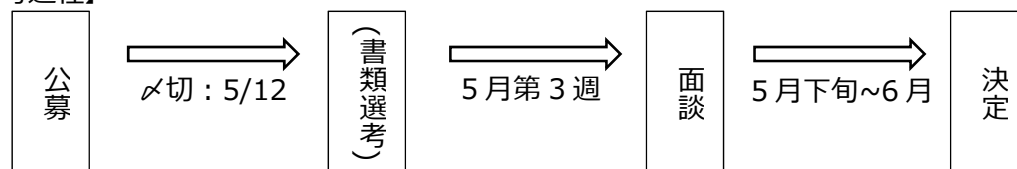
- ・自社のカイゼンについてこれから取組みを進めようとする熱意を有する企業
- ・ものづくり製造業（食品製造業を除く）
- ・道内に本社を有し、かつ道央圏に製造拠点を有する中小企業

<費用>

- ・実習費用は無料です。
- ・実習に伴う旅費・食費、自社のカイゼン費用は自己負担をお願いします。

<募集企業数> 7社14名（各社2名）

【選考過程】



- ・応募企業多数の場合は、アドバイザー及び事務局にて参加企業を書類選考いたします。
- ・書類審査後、アドバイザー及び事務局でお伺いして社長等への面談により最終決定いたします。なお、この面談の際に1年目の現場提供の可否についても、確認等させていただきます。

<留意事項>

- ・1年目においては、現場提供企業（1社）は他6社の従業員がアドバイザーのカイゼン指導を勉強するため、生産現場に立ち入ることになります。
- ・1年目の最後に各社でカイゼン計画を立て、2年目には対外的に実施結果を報告していただきます。
- ・原則、2年間各社2名で受講し、全ての実習に参加していただきます。また、実習参加者は、工場長・現場責任者等の現場を熟知している方やカイゼン方針の決定権を持つ方を最低1名含めてください。
- ・1年目の7月下旬から1月の間の内容は次のようなことを予定しております。

内容	参加者
①現状分析、カイゼンネタ探し、カイゼン指導（1日）	現場提供1社：①～⑤ 他6社：①,②,④,⑤ ③は必要に応じて
②アドバイザー指導に基づくカイゼン活動の実施（1or2日）	
③自主的なカイゼン活動の実施（1or2日）	
④カイゼン指導のフォロー（1日）	
⑤各社毎に年度末のカイゼン計画発表会にむけ、独自に計画を作成	

<アドバイザー予定>

- ・堀口 敬：堀口ビジネスコンサルティング 代表（中小企業診断士）
- ・飯田 憲一：北海道立総合研究機構 工業試験場 製品技術部長
- ・畑沢 賢一：北海道立総合研究機構 工業試験場 製品技術部 研究主幹

<事務局>

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）クラスター事業部 青柳、栗林
〒001-0021 北海道札幌市北区北21条西12丁目 コラボほっかいどう
TEL：011-708-6526 FAX：011-747-1911